

# 「アフリカの希少類人猿・ボノボ」

いたに げんいち  
**伊谷 原一 氏**

京都大学野生動物研究センター教授  
日本モンキーセンター附属世界サル類動物園長



**2月14日(日)**

**13:00~14:30**

会場：動物科学館2階  
(安佐動物公園内)

**参加費無料**

※入園料は必要です

主催 広島市安佐動物公園  
後援 日本動物園水族館協会

類人猿・ボノボは、コンゴ民主共和国にのみ生息する希少種で、絶滅危惧種です。チンパンジーと同属ですが、チンパンジーとは全く異なる生態や行動を持っています。メスが中心となる集団は、平和的で特異的な社会を形成しています。

本講演では、人類進化の謎を解明する上で、重要なヒントを提供するボノボの社会を紹介します。



## 伊谷 原一 (いたに げんいち)

1991年 京都大学理学博士(人類学)。1984年以来、コンゴ民主共和国(当時はザイール共和国)の熱帯雨林で希少類人猿・ボノボの社会生態学的研究を行う。その一方で、隣国のコンゴ共和国でチュウオウチンパンジー、タンザニアの乾燥疎開林でヒガシチンパンジーや中・大型哺乳類を対象に、生態・行動・保全研究に携わり現在に至る。最近では、コンゴ民主共和国で新たに発見されたボノボ西個体群の研究用フィールドの開拓を進めている。